

もちづき亮佑 衆院大阪18区 国政対策委員長

活動ニュース No.20



2021.04.12 発行：日本共産党 衆院大阪 18 区選対本部 Tel:072-437-8411/Fax:072-437-8414 【部内資料】

4/8 岸和田市内で宣伝 (4/11 Facebook 掲載)

出口の見えない辛さを多くの人が抱える今こそ共産党が展望を語ろう



8日の午前・午後と、岸和田市議の田中市子さんや地域の党支部の皆さんと一緒に、宣伝カーで岸和田市内を回り、あちらこちらで訴えました。

大阪ではこの間、新規感染者数が1000人にも迫り、大変な状況が続いています。検査件数を最大限増やし、集団感染を未然に防ぎつつ、医療への支援を強める対策の強化が必要です。

この日の宣伝では、通りすがりの人から「ワクチンはいつになったら受けられるのか」「いつになったら収まるのか」と半ば諦めたような声も聞かれました。時間が経つ事に状況が悪い方向へ向かって出口の見えない辛さを、多くの人が感じているのではないかと思います。だからこそ、私たち野党が新型コロナを抑え込む展望を示すことが待たれていると思うのです。「諦める必要はありません。政治を変えれば状況は変えられます」と、街頭から訴え続けたいと思います。

4/9 忠岡町内で宣伝 (4/11 Facebook 掲載)

40人学級の矛盾が新型コロナ禍の下で浮き彫りに 少人数学級の実現を

9日の午後、忠岡町議団の面々と町内を回り、辻々でマイクを握って訴えました。

役場の近くで訴えをしていると、小学生の子ども達が興味を示してくれました。「テレビに出てる人？」という質問を受けましたが、私の立場を説明すると一応分かってくれたようでした。私から「お友達でコロナになってしまった子は？」と尋ねると、既に何人かが罹患しているとのこと。そこで「クラスは何人？」と聞くと「44人やで」という返事がかえってきて、思わず「えっ、ほんまに？」と聞き返してしまいました。

あとで、一緒にいた忠岡町議の是枝綾子さんに尋ねると、支援学級の子供達を児童数にカウントしない制度上の問題で44人学級が生まれているとのこと。忠岡町は先生を増員してクラス数を増やしたいと考え

ているものの、大阪府が首を縦に振らず、コロナ禍の下でも異様な状態を改善できずにいる様

です。大阪府の言い分もあるのかもしれませんが、行政の不作为で子ども達を危険な状態にしているのなら、まったく腹立たしいことです。町議団とも協力して、大阪府との交渉に持ち込まなければいけません。

感染が急拡大し、この地域でも大変な状況があちこちに生まれています。ひきつづき奮闘します。



【3/24 泉州市民連合「市民と野党の討論会」に登壇しました】

3月24日に泉州市民連合が開催した「市民と野党の討論会」に登壇しました。第一部の富田宏治 関学大教授の講演に続いて、第二部の討論会では泉州地域の立憲野党予定候補者が勢揃い。「どうすれば野党共闘は進む?」「投票率を上げるには?」との司会者からの質問に、登壇者が答える形で討論が進められました。望月からは、「市民と野党の共闘」が市民からの後押しを受けて発展してきた経過に触れて、共闘を後押ししてくれる市民をいかに政党の立場から増やすかが大事だとお答えしました。

討論の様子はYouTubeやFacebookの泉州市民連合のページから視聴できます。

